

事業継続計画の実効性を高めるために

ウトロ地域 BCP 協議会では、策定した BCP の実効性を高めるためには、関係する水産業の生産・流通関係者に対して周知を行い、共通の認識とすることが重要と考えており、BCP 策定の過程でも関係者とも打

ち合わせを行い、そこで出された意見や疑問も計画に盛り込んでいる。また、BCP の内容の実践と問題点の洗い出しを行うため、連絡体制の確認や被害状況の把握等を行う訓練について行うこととしている。



図-2 ウトロ漁港 水産物流通特性の整理（サケ定置網漁業）

（公社）日本港湾協会平成 30 年度定時総会の開催について

公益社団法人 日本港湾協会の平成 30 年度定時総会が函館市の函館アリーナで平成 30 年 5 月 23 日（水）に開催されました。

開会式では、主催者挨拶として、公益社団法人日本港湾協会の宗岡正二会長の挨拶に続き、開催地として、窪田毅北海道副知事と工藤壽寿函館市長が挨拶されました。その後、自民党港湾議員連盟会長の望月義夫衆議院議員、国土交通省 菊地身智雄港湾局長が祝辞を述べられました。議事に先立ち行われた日本港湾協会賞などの表彰式では、論文賞、鮫島賞など 11 件と港

湾功労者 135 人に、宗岡会長から賞状と記念品が贈られました。道内からは、企画賞として客船寄港時に 10 年以上通訳ボランティアなどを行っている遺愛女子高等学校が表彰されました。また、北海道 6 港湾の連携等による北海道産品の輸出促進に向けた取組として（一社）北海道国際流通機構、苫小牧港管理組合、石狩湾新港管理組合、紋別市、根室市、枝幸町、増毛町及び北海道開発局港湾空港部港湾計画課が表彰されました。総会では役員の選任や本年度の事業報告等が承認されました。次回総会は新潟市で開催されます。



望月義夫衆議院議員



菊地身智雄港湾局長